

光経済研究所株式会社

東京都中央区日本橋人形町 1-18-9 TEL 03 (3669) 2331(代)

証券投資顧問業登録関東財務局長第 557 号 日本証券投資顧問業協会会員 011-00557 号

平成 14 年 3 月 19 日号

ファンドマネージャー 出来岡 潔

<http://www.hikarikeizai.co.jp>

今回は、相場は同じことが繰り返し繰り返しおきる。相場は同じことの繰り返しでしかないということについてご説明しました。(3月15日号のレポート参照)

要するに、過去の相場における値巾が今後の相場に再現されることが多い...

それでは、こうした理論をもとにして、ここ人気の(5482)愛知製鋼の計算値を出してみます。

まず考えられる第一点は、昨年9月安値 569 円から10月高値 792 円、この上げ巾の 223 円を直近の安値である今年2月の500円に足した 723 円が計算値。この場合はすでに先週達成したことになります。

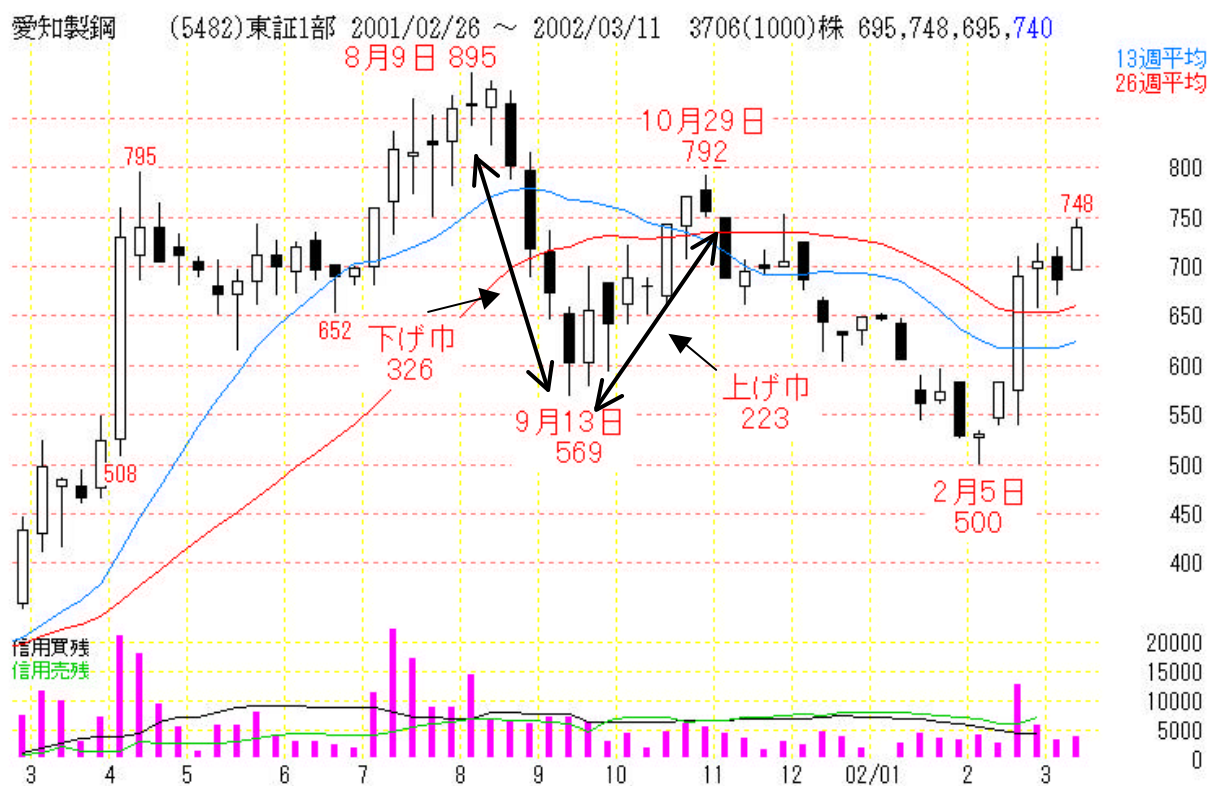
次は、昨年8月高値 895 円から9月安値 569 円、この下げ巾の 326 円を今年2月安値の500円に足すということも考えられます。というのは、昨年8月高値 895 円から9月安値 569 円は天井を打った後の最初の下げ巾であるわけです。いわば重要な値巾...

それだけに今後の相場において繰り返し出てくるのが考えられるわけです。

895 円から 569 円までの 326 円の下げ巾を今年2月安値の500円に足した 826 円が計算値。

このように過去の相場における値巾を今後の相場にあてはめるとというのが計算値の出し方の一つだと覚えておいて下さい。

(無料テレフォンサービス) やさしいチャート教室 03 - 3669 - 5552)



Alpha Chart 社製

このレポートは投資の判断となる情報の提供を目的としたものです。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようにお願い致します。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。